

主な誤答	要因
(誤答例) 条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの *条件③をみたしているかどうかは不問とする	書く目的や意図が明確でなく、「たてわり遊び」のよさについて書く必要があることを認識していない。 また、事実と感想、意見とを明確に区別せずに、事実を自分の考えのように書いてしまっている。

内容の系統と指導のポイント

小学校第1・2学年

教科書のここ！
小2下 P.48～

Point
作り方や使い方を説明する際には、「まず」「次に」「そして」などの順序が分かる言葉を使って、まとまりを意識して書くことができるようにする。

順序が分かるように書く

せつめいのしかたに 気をつけて読み、それをいかして書こう（光村図書二下）

- ① おもちの作り方について書かれている文章を読み、説明するおもちを決め、説明の順序を考える。
- ② 順序を表す言葉や写真、絵等を使ったり、内容のまとまりを確かめたりしながら、文章を書く。
- ③ 書いた文章を友達と読み合い、工夫している点を伝え合う。

B 書くこと ウ

語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。

小学校第3・4学年

教科書のここ！
小4下 P.56～

Point
考えたことや調べたことを図や表などを用いて整理する際には、様々な図示の方法に触れることを通して、図や表の特徴やよさを児童自身が実感できるようにする。

考えが伝わるように、具体例を用いて書く

中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう（光村図書四下）

- ① テーマを決めて、知りたいことについて調べる。調べて分かったことをカードに書き出し、分類・整理する。
- ② 読む人に自分の考えが伝わるように組み立てを考え、自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にして文章を書く。書いた文章を読み返す。
- ③ 書いた文章を読み合い、分かりやすいと思った書き方について

B 書くこと ウ

自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。

小学校第5・6学年

教科書のここ！
小6 P.166～

Point
文章を読み返す場面では、友達と助言し合いながら、児童自身が自分の文章を何度も見直したり、書き直したりできるようにする。その際、見直す視点を明確にもつことができるようにする。

目的や意図に応じて、伝えたいことを効果的に書く

筆者の工夫をとらえて読み、それをいかして書こう（光村図書六）

- ① 本を読んで興味をもった事柄から題材を決めて、必要な情報を集め、図や表に整理する。
- ② 自分の伝えたいことが効果的に伝わる構成を考え、自分の考えを意見文にまとめる。書いた文章を読み返す。
- ③ 意見文を読み合い、伝えたいことが効果的に伝わる書き方だと思ったところを中心に伝え合い、友達の文章のよいところを自分の表現に生かす。

B 書くこと ウ

目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

本設問の活用の手順

- ① 書く題材を設定する場面では、相手や目的、意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書きたいことを見付けたり選んだりすることが大切である。その際、目的や意図が明確になっていて、それに基づいて題材を考えることもあれば、以前から疑問や問題意識をもっており、そこから題材を選んだ上で、目的や意図を設定していくことも考えられることに留意する。
- ② 情報を整理する場面では、集めた材料を書く目的や意図に応じて内容ごとにまとめたり、それらを互いに結び付けたりしながら伝えたいことを明確にすることができるようにすることが大切である。また、児童が情報を整理する中で足りない情報に気付き、再取材を行ったり、必要に応じて、別の立場からの情報を収集したりすることができるよう、単元構成を工夫することが考えられる。
- ③ 文章を記述する場面では、取り上げた事実が、自分の考えを裏付けるものになっているかどうかを振り返り、事実と考えとの関係を明確にできるようにする必要がある。その際、文末表現に着目し、事実と考えを混同して書いていないかを確認する場面を設定することが大切である。